

公表

事業所における自己評価結果

公表日

令和7年4月16日

事業所名	放課後等デイサービスあじさい				公表日	令和7年4月16日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	なるべく広く使えるよう、外活動をおり入れている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	その日の利用児童数に合わせて、スタッフ配置を配慮している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	子どもの視線から見るとどのように見えるかを考えながら、よく手をのぼす場所など特に清掃している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	多い部屋数を活かして、必要に応じた対応をいしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	日ごろから意見しやすい雰囲気作りに取り組んでいる。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	ご意見や要望と今後の対応をスタッフに必ず共有して、同じ方向性で支援できるようにしている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	日ごろから意見しやすい雰囲気作りに取り組んでいる。意見をどのように活かせるかをMTGで協議している。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	80%	20%	学校や園などから評価をいただき、内容をスタッフと共有し対策を検討する機会を作っている。	パートタイマーのスタッフとも積極的に共有や協議を行います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	定例で研修を設け、事業所内研修を実施し、支援の質や新たな法令を学習する機会を設けている。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	HUGシステムと希望があれば紙ベースで公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	あじさい生徒会を組織し、こどもの意見を受け取る機会を設けている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	支援会議を行い、普段から支援に関わっているスタッフから情報をもらい、反映させるようにしている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	HUGや資料で確認できる環境を作っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	HUGシステムを活用。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	80%	20%	行事成務担当を複数にしている。	具体的な活動プログラムによっては、単独になる場合があるため、その場合でも担当者以外に相談できる体制を作ります。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%		療育の目的に応じて組み合わせている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	80%	20%		シフトにより必ず実施できるわけではない為、極力時間を調整し打ち合わせができる体制を作っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%		特に大型の行事や支援の後は、すぐに振り返りを行うようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%		行事や活動を計画する段階で組み合わせを考えて作成している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%		年齢や能力に応じて自己決定する機会を作るようにしている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		児発管だけでなく、支援に深くかかわるスタッフも同席できるよう、極力調整している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%		気になる事があれば、お互いこまめに連絡を取り合うようにしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	80%	20%	要望があれば、適宜情報をお伝えしている。	要望がなくとも、お渡しできるよう検討します。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	80%	20%		開始したところです。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	50%	50%	実施したいが、近隣の活動を拒否されるケースがあり、検討中。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	50%	50%		事業所で分担するなどして参加を検討します。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		IT化により、情報共有を促進している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	80%	20%	家庭支援は積極的に行っている。	ペアトレを法人で計画開始したところです。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		文面にて説明を行うようにしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		IT化により、情報共有や相談受付を促進している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	100%		保護者会や大型行事に、ご家族で参加してもらっている。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%		様々な方法で発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	40%	60%	散歩や地域の公園などで交流を持ち、定期的に地域清掃のボランティアを取り入れている。	地域住民を招待できる行事を検討します。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%		保護者様や関係機関から情報を収集し、スタッフに周知する時間を設けている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	0%	該当者無		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%		契約時に説明するようにしている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		事例が発生したタイミングで随時共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	0%	該当者無			